

校訓

自ら律し すべてに愛を

Tel. 0749-78-1213

Fax. 0749-78-1311

相手の立場になること

校長 伊藤 武夫



皆さんは「南極物語」をご存じかと思います。映画にもなった実話です。

あらすじは、以下のようなようです。1958年2月、日本の南極観測隊が観測に利用していた犬ぞりの犬を、日本に帰るときにやむを得ず南極に置き去りにしました。1年後、南極に戻ったところ、タロとジロという名前の犬2頭だけが生きていて、探しに来た隊員のもとに駆け寄ってきたという感動的なお話です。実際のところ、脚色されている面もあるようですが…。犬は南極での冬の間、ペンギン等を食料にしていたとのことでした。

さて、話は変わりますが、金子みすゞさんの詩に「大漁」という作品があります。

大漁
朝焼小焼だ
大漁だ。
大羽鰹の
大漁だ。

浜はまつりの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鰹のとむらい
するだろう。

*大羽鰹(おおばいわし)

この詩は、大漁の喜びに沸き、お祭り騒ぎの漁村を描くとともに、その反対の立場にある魚の側からの悲しみも見つめています。

南極のペンギンは、南極物語に登場するタロとジロの食料にされたことを考えると、ペンギンにとっては突然現れた敵が、隊員たちの発見によりいなくなり、ホッとしたりかもしれません(決して南極物語を否定したり批判したりするものではありません。私自身、図書を読み、映画も観ていますので。)

ここでは人間的には感動的なお話も、視点を変えるとそうではないことがたくさんあるということです。

世の中には、素晴らしくうれしい感動的な話も、立場が違えば全く反対の悲しく冷たい話になることもあるということです。つまり、相手の立場に立ってものを考えることが必要だということです。

例えば、テレビを観ていて、バラエティ番組で、おもしろい話や冗談で盛り上がっている場面。テレビの前で、腹の底からおかしく笑い転げている人もいるかもしれませんが、中には反対に、「自分の恥をさらして何が面白いの?」と……。また、料理番組でも、豪華な食材が出てきたりして、中には全てを食すこともなく、捨てられてしまうものもあるようです。世の中には少しでも家計をやり繰りして生活している方もおられます。テレビを観る側の選択もあるわけですが……。

まずは、物事の見方は1つではないということを理解し、ちょっと立ち止まって、相手の立場に立って物事を考える、そんな日常の振り返りも必要なのではないのでしょうか。

1年生 箏体験学習

先月16日(火)に作法室で箏の体験学習がありました。講師の方にお越しいただいて各クラス2時間ずつ、難しい表情ながらも楽しいひとときを過ごすことができました。



2年生 救急救命講習

先月22日(月)から24日(水)にかけて救急救命講習がありました。長浜消防署東浅井分署から消防職員の方々にお越しいただき、人工呼吸法等の講習を受けました。



スキー冬季総体：近畿・全国大会出場

1年 涌井さん

先月行われた県大会(ジャイアントスローム)で4位に入賞し、近畿・全国大会への出場権を獲得しました。市役所の教育長室で行われた壮行会では、大会に臨む決意をしっかりと述べてくれました。

学校評価:保護者アンケートの結果より

* アンケート回収率83.5%

(4…そう思う 3…どちらかといえば思う 2…どちらかといえば思わない 1…そう思わない)

(4段階評価の値は%表示)

No.	評価項目	4	3	2	1
1	「自ら考え正しく判断し、心豊かでたくましく生きる生徒」を育成している。	20.8	66.0	9.9	3.3
2	将来の進路や生き方について適切に指導している。	14.4	63.2	17.0	5.4
3	家庭や地域との連携や開かれた学校作りを大切にしている。	17.9	72.2	7.5	2.4
4	学校行事は子どもの成長につながっている。	60.1	36.3	3.6	0
5	生徒会活動は活発である。	18.1	67.5	12.7	1.7
6	学習指導は丁寧でわかりやすい。	10.4	63.2	20.3	6.1
7	安全指導は適切である。	18.6	57.5	18.4	5.5
8	生徒指導は適切で、善悪のけじめ、規律などの指導ができています。	15.0	62.3	18.9	3.8
9	部活動は子どもの成長にプラスになっている。	42.7	46.2	9.4	1.7
10	道徳性を大切にし、いじめ・暴力のない学校、学級作りに励んでいる。	14.2	70.3	13.6	1.9
11	子どもは楽しく学校に通っている。	50.7	41.5	6.1	1.7
12	「いのち」や「人権」を大切に生活している。	33.3	56.1	8.0	2.6
13	子どもは「挨拶」「時間を守る」などの基本的な生活習慣が身についている。	25.4	53.3	18.9	2.4
14	家庭学習の習慣が身についている。	20.2	40.6	30.2	9.0
15	教師は親しみやすく、指導に熱心である。	18.5	59.4	18.9	3.2
16	教師は子どものことについて保護者に適切に対応している。	21.5	58.5	17.6	2.4
17	教師は保護者に対する言葉遣い、電話対応、服装が適切である。	40.3	52.4	6.1	1.2
18	学年通信、学級通信、広報などは、学校や子どもを知る上で役立っている。	34.3	56.1	9.6	0
19	授業参観や行事など、できるだけ行きたい。	39.3	49.1	10.4	1.2
20	土曜日の授業は、生徒にプラスになっている。	21.6	47.2	22.6	8.6

保護者の皆様にはアンケートに多数ご協力いただき、ありがとうございます。各学年から寄せられたアンケートを全校の数値としてまとめ直した結果、上記のようになりますので報告させていただきます。

まず、ほとんどの項目が肯定評価の中、3学年とも共通している本校の重点課題は「学習面」にあるようです。評価項目6の「学習指導の丁寧さ・わかりやすさ」・14の「家庭学習の習慣」等が他の項目に比べ、評価段階1、2の数値が高いです。また、20の「土曜授業」の意義についても否定的な意見が多く寄せられていました。なお、これらの点については本校の職員評価でも課題となっています。

さて、授業や学習面に関してですが、校内研究では次の事柄を中心に取組を進めてきました。一つは生徒の学力向上・思考力向上のための授業改善や工夫についてです。もう一つは特別支援教育の視点に立った授業づくりです。また、確かな学力の定着に向けて、その基礎となる落ち着いた授業や学習環境(教室環境)の整備にも力を入れてきました。また、家庭学習の習慣化に向けては、通塾率との関係もあります。家庭学習については具体的に何が課題となっているのかを見極め、家庭との連携も大事にしながら、宿題も含めた学習内容を検討していきたいと考えています。

次に、安全指導についてですが、「登下校の通学マナー」につきましては、地域の方々から厳しいご意見やご指摘をいただくことがあります。ノーヘルや多列並進等、いろんな場面で指導を繰り返していますが、なかなか改善していません。交通ルールを守らないと「命」に関わります。本校においても定期的に挨拶運動を兼ねて学校周辺での交通立番をおこなってはいますが、すべての地点を見守るには人手が足りません。今後も粘り強く、指導を継続していきたいと思いますが、もしルールやマナー違反等を見かけられましたら一声かけていただき、保護者・地域の協力のもと、通学マナーの向上を図っていきたく思いますのでよろしくお願いいたします。

最後に、土曜授業については長浜市の教育施策の一つであり、大きく変えることはできません。しかし、土曜授業の在り方は施策として始まった頃と比べ、やや方向性がずれてきているように思います。次年度の年間行事計画を作成するにあたり、他校との情報交換のもと、土曜授業としてテストをそれに充てないことや年間の土曜授業回数を減らすこと等を考えています。

全般的には、ほとんどの項目で8割を超える肯定率(4段階評価の4と3を合わせた%)を示しています。学校ではこうした保護者の皆さんの評価に加え、教職員や生徒の学校評価、学校運営協議会委員の方々のご意見等をもとに、次年度に向けて継続すべき事柄や改善すべき事柄等を整理していきたく思います。今後も本校の教育活動にご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

2月後半～3月の主な行事予定

2 / 23 (金)	3年学年末テスト-1-	3 / 12 (月)	卒業生同窓会入会式
26 (月)	3年学年末テスト-2- 青葉会委員会	13 (火)	卒業証書授与式
		14 (水)	県立高校入試合格発表
3 / 1 (木)	1, 2年学年末テスト-1-	20 (火)	県立高校2次選抜入試
2 (金)	1, 2年学年末テスト-2- 避難訓練	22 (木)	新入生説明会 小中連絡会
		23 (金)	修了式 県立高校2次選抜発表
7 (水)	県立高校一般入試	30 (金)	離任式